



新規開講 野外災害救急法 WFR ハイブリッドコース

1. 概要

新型コロナウイルス影響下においても WMA 野外災害救急法カリキュラムを学習し、特徴である「手に残る技術」として定着することができるためのコース。オンラインでの E ラーニング学習と集合形式の実技セッションの組み合わせにより、じっくりと時間をかけて学習を進め、知識を定着させたのちに実技を通した「クリティカルシンキング」の応用をトレーニングしていきます。

2. 学習時間 ; 2 週間 (14 日間) で完結します。

- Step1 (Day1-Day11) : E ラーニングを用いた自己学習
 - インターネット環境が必要です (スマートフォンの場合は WiFi 環境を推奨)。
- Step2/Day12 : インストラクターとオンライン ZOOM セッション (6 時間)
 - 実技セッション前日に 3 コマ (各 2 時間) ;
 - ◇ Wafa 内容の復習
 - ◇ 追加項目 : 重度喘息・高山病・凍傷・脱臼
 - ◇ 既存項目の WFR レベルへの引き上げ
- Step3/Day13-14 : 就業形式での野外実技セッション (8 時間 x 2 日)
 - ◇ Day 1 9:00~12:00 / 13:00~18:00
 - ✓ PAS ドリル・BLS ドリル (重度喘息含む)・脊損テストデモ・脱臼デモ・外傷ドリル・環境ドリル・疾病ドリル・総合ドリル等
 - ◇ Day 2 9:00~12:00 / 13:00~18:00
 - ✓ 脊損固定・搬送・インプロバイズドキャリア・シミュレーション①・シミュレーション②・テスト等
 - 実技セッション内にて資格認定テストを実施します。(25 問)

3. E ラーニングによる自己学習の手順

- ①申し込み & 参加費納入後、WMAJ 事務局より指定 ID およびパスワードをメールで受信
- ②ご自身のペースで、E ラーニングシステムでレクチャーの受講 (スライド/ビデオ)
※19 単元、約 14 時間ありますので計画的に進めることをお勧めします。
- ③各単元に知識の確認のための小テストが用意されています。要点をそこで確認しましょう。

4. オンライン Zoom セッションの手順

E ラーニングによって復習した Wafa レベルの知識を WFR レベルに引き上げ、また新たに WFR として追加される項目を学ぶためのセッションです。インストラクターとこの期間に受講しているメンバーがオンライン上に集います。ケーススタディや質問の時間を設けておりますので、納得できるまでこの Zoom セッションで質問をしてください。

- ① イーラーニングの必要単位を全て履修すると WMAJ 事務局より Zoom セッション ID が付与されます。
- ② 所定の時間になりましたらオンラインに繋いでいただき、セッションが始まります。
- ③ オンラインセッションは所定の時間全ての受講が必要となります。
- ④ 参加確認を兼ねるためカメラにはご自身が映った状態にしておいてください。

5. 資格認定

資格を取得するにあたっては、Eラーニングによる自己学習、オンライン Zoom セッション、実技セッション、これら全ての 100%受講、および最終試験（筆記・実技）にて 80%以上のパフォーマンスが必要です。コースに該当する「ウィルダネス状況下医療プロトコル」の運用を含む知識技術の証明（Certificate）を WMA International より発行いたします。世界 31 ヶ国共通の国際資格です。

6. 受講要件

- 有効期限内の WAFA 資格。または有効期限内の WFR 資格。どちらも WMA 発行の資格に限る。
- 受講開始日に 16 歳以上である。（開始日に未成年の方については親権者の同意書が必要です）
- インターネット環境を用意できる
- 全てのスケジュールに参加できる（特にオンライン、実技セッションは時間の制約があります）
- 下記「新型コロナウイルス影響下における参加者基準」をパスしている

7. 新型コロナウイルス影響下における参加者基準

実技セッション参加にあたっては、下記「新型コロナウイルス影響下における参加者基準」に該当している場合、感染拡大防止の観点から、実技セッションへの参加をお断りしています。

①お住いの地域が「流行地域」ではない。

流行地域とは、該当自治体が緊急事態宣言や都道府県をまたぐ移動を自粛や制限する発表をしている状態の地域を指します。

②実技セッションの過去 7 日間以内に新たに以下の症状が発生した一

- 新型コロナウイルス陽性者もしくは疑いのある者との接触があった。
または行政機関に自宅待機するように言われている。
- 37.5℃以上の発熱。
- 呼吸器の症状； 咳・ 喉の痛み・ 息切れ
- インフルエンザのような症状； 継続する頭痛 倦怠感 筋肉の痛み
- 吐き気、嘔吐、下痢
- 味覚や嗅覚の消失。

実技セッションの前日および当日に、合計 2 回スクリーニングいたします。

8. その他新型コロナウイルス感染拡大予防の取り組み

講習会では新型コロナウイルス感染予防に次の取り組みを実施しています。

- 最小人数のインストラクター派遣によるクラスター予防
- 前日および当日のスクリーニングによる有症者のチェックと参加お断り
- 共有部のこまめな消毒や手洗いができる環境の設定

- 新型コロナウイルスに関する情報提供（ポスター等により）
- 実技セッション中は常時マスクを着用。特にシミュレーションのように接触や接近が含まれる際はより飛沫防止率の良い不織布マスクを着用。
- 実技セッションにおける通い参加の推奨。宿泊を要する際は原則個室対応。
- 食事についてはお弁当を推奨。（持参・仕出しともに）

9. よくある質問とその回答

①教材はいつ手元に届きますか？

A.教材一式は主催者よりEラーニング開始日（コース開始日）に宅急便にてお手元にお届けします。開封しサイトにログインした時点で受講開始として認識いたします。

②Eラーニングの途中でコースをキャンセルしなければなりません。その時の対応はどうなりますか？

A.Eラーニング当日より「コース受講開始」となりますので、100%のキャンセル料がかかります。なお、次回別のハイブリッドコースに参加される際、教材に変更がなければ教材費代を引いた金額で参加が可能です。その際、講習は最初からやり直しになります。

③受講過程で済んでいる自治体が「流行地域」に指定され、実技セッションに参加できなくなってしまう。その際はどうなるのでしょうか。

A.②同様に100%のキャンセル料が発生します。ただし、この件は不可抗力によるものですので、半年以内に別のハイブリッドコースにお申し込みいただいた際は参加費無料で受講ができます。ただし、その際は講習は最初からやり直しになります。

④オンラインセッションのみ、または実技セッションのみが参加できません。振り替えなどは効きますか？

A.残念ですが振り替えは効きません。Eラーニングを除き、設定された日時に出席が必要です。